

貯水池斜面の再評価		
事 項	要 点	備 考
2 .白屋地区で得られた知見	<p>1) 「大滝ダム白屋地区亀裂現象対策検討委員会」で指摘された地すべり発生の地形・地質的要因*1</p> <p>地形・地質的要因としては以下のように読み取れる。</p> <p>地形的特性及び要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高標高部に緩斜面が形成されている ・緩斜面背後には地すべり頭部に相当する滑落崖はない <p>地質的特性及び要因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風化・侵食を受けやすい泥質岩の分布 ・地質構造が川側に傾斜している ・すべり面を規制する大規模な断層は確認されていない <p>緩みの状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩盤の深部まで亀裂が発達している ・これらには部分的に角礫化・細粒化・粘土化などが認められる <p>微小変形の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粘土化が進んだ強風化岩に分類される箇所が複数の深度に分布する ・その一部には鏡肌や条痕などが認められる <p>2) 今回の地形特性及び地質特性調査で得られた知見</p> <p>地形的特性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高標高部に緩斜面が形成されている ・緩斜面の上部にはやや急勾配の斜面と、さらに上部の段差状地形が繰り返し存在する <p>地質的特性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泥質岩優勢層が分布する。 ・岩相分布や壁開・節理が流れ盤構造 ・岩盤の緩み、地質構造の乱れ 	<p>* 1</p> <p>「第4回委員会資料」より抜粋</p>